

目標達成計画

事業所名: グループホームふわり藻岩下

作成日: 平成 31年 1月 4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	理念を十分に理解し自身の経験を活かしスキルアップする。	日々のケアの振り返りを行なう。客観的な立場から第三者のアドバイスを受けることなど考えています。	6か月
2	2	事業所と地域との付き合い	交流室などを地域の方に使用していただきグループホームを活用していただきたい。	ボランティアなどを積極的に受け入れていきたいと考えております。	1年
3	4	運営推進会議を活かした取り組み	多くの家族の方に参加をしていただきたい。	認知症・グループホームとして家族の力が必要であることを多方面よりアプローチしてはどうかと考えています。	1年
4	5	市町村との連携	ケアマネ連協やグループホーム協会との繋がりを密にしていきたい	職員を多岐にわたり色々な場面に参加を促す。	1年
5	6	身体拘束をしないケアの実践	常に必要であるかと確認を行い、必要でないものに関しては拘束を解いていく。	記録や、アセスメント・日々カンファレンスを行なう。	1年
6	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	どの職員と話しても入居者様やホーム内外の状況が伝えられるようにしていきたい。	家族様との話などを経過表に記載していく。	1年
7	11	運営に関する職員意見の反映	会議での話しやすい環境づくりを行っていく。	提案を出し続けていく。	1年
8	20	馴染みの人や場との関係継続の支援	日常的に買い物に出かける。	関係性を継続できるよう本人、ご家族からの情報を得ていく。	1年
9	23	思いや意向の把握	自身のやりたいこと、行きたいところを日々の生活の中からくみ取っていきたい。	できることを見つけ、すそ野を広げていく。	1年
10	26	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人の言葉から短期目標を見出していきたい	出来ること躓いているところをアセスメントを日々おこなっていく。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
11	30	かかりつけ医の受診支援	看取り時だけではなく、家族との面談も行ってほしい。	往診日に家族との面談を設けていきたい。	6か月
12	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	看取り支援に向けて書類の整備を行なう。	緊急時に延命を希望するか等具体的に本人又は家族に確認をしていく。	6か月
13	35	災害対策	災害マニュアルの確認・避難場所の確認。	ご近所に一時的に避難させてもらえるかなどの確認を行っていきたい。避難場所への移動対策。常備品の準備(毛布など)	6か月
14	36	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保	接遇研修、認知症介護研修など機会あるごとに参加していき身に付けていく。	接遇研修、認知症介護研修等機会あるごとに参加意識改革をしていく。	1年
15	40	食事を楽しむことのできる支援	食材の皮むきや芽とり等出来そうなことから発想へつなげていく。	食事をしながら収穫したものであるなどの、話題提供をしていく。	1年
16	43	排泄の自立支援	トイレでの排泄。	入居者の特性を知り、動き、室温、湿度から適宜対応していく。	6か月
17	45	入浴を楽しむことが出来る	一人一人のペースで入れる。	本人の行えることはもちろんであるが、入り方や順番等本人のペースで行えるよう支援する。	1年
18	49	日常的な外出支援	買物に出かける習慣をつける。	近くのコンビニやスーパー等に行く。散歩に出かける。	6か月
19	52	居心地の良い共用空間づくり	季節感を重視し四季折々の飾りつけ、入居者の写真を行事ごとに張り替える。ソファの配置を考慮する。	日頃の人間関係を考えたソファ位置、食席の位置を整えていく。	3か月
20	54	居心地よく過ごせる居室の配慮	入居時には今まで使用していた家具や飾り物等ご持参いただいている。	馴染みのものを身近に置いて頂く事でやすらぎを感じられるように。	1か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。